

意見交換会のねらい・参加者と議員の活発な相互通行により町の政策およびまちづくりへ反映できる議論に発展させる。

<6月の意見交換会について>

- ① 公開用の記録とアンケート集計の確認
- ② 意見交換会の反省(テーマ、時間、場所等)
- ③ 意見交換会をふまえて各常任委員会の現状と今後
総務経済常任委員会～小さな公園を考えよう
教育福祉常任委員会～心身きりり条例

<9月の議会報告会及び意見交換会について>

- ① 3月の開催後に出た課題
出席者が少ない
常任委員会の発表も必要である
- ② 3月のテーマ
総務建設常任委員会「東大果樹園跡地活用について」
教育福祉常任委員会「地域包括ケアシステムについて」
予算委員会「予算全般」
→3月テーマ後追いの報告をするのか?
→9月の意見交換会のテーマ設定は?
- ③ 開催場所
{ 生涯学習センター }
{ 山西防災コミセン } 案
{ 百合丘児童館 }
他、学校など
- ④ 時間配分
議会報告会 20分→30分
意見交換会 100分→90分 としてはどうか。(委員会報告のため)
- ④ 開催時期
11月初旬

<広報の確認>

- ① ちらし及びポスター担当・小笠原委員
- ② 駅頭日程 月 日(曜日) 時集合

<3月意見交換会のテーマ毎要約>

① 東大跡地活用

・将来を見据えた魅力的な町づくりに利活用すべきである。具体的には跡地の自然を生かした子どもから高齢者まで楽しめる交流の場となるような公園、またその公園を災害時の防災拠点とする、更には一部を高齢化の進展を考慮して介護施設を建設するなどのアイデアが出された。利活用の基本的な考え方や具体的なアイデアだけでなくそれぞれのアイデアの利点や課題も出た。

・二宮小学校や役場庁舎等公共施設の跡地への移設案が出され、またそれに伴い学校統合や経済効果についても議論される。その他自然の中の遊び場等の利活用案も出された。現在B地区の8千平米が野球場として暫定利用されているが、その使用状況が借地責任者から説明された。

・利活用の基本的な考え方とともに具体的な案が出された。一つは町全体を考え、長期的な視野に立ち、人口減少や高齢化等と考慮し、公共施設の再配置計画の中で利活用する。例えば学校統廃合や公共施設を複合化統合で跡地に移設する。二つ目は人口減少緩和に向け自然を生かした交流の場とし、子育て層にアピールし定住促進を図る。経費が比較的かからず財政面からも良い。

② 地域包括ケアシステム

・地域包括ケアシステムそのものが分かりにくく、ケア自体も地区で何をどうすべきなのかはつきりせずまずはマニュアルを作成すべき。そして地域福祉計画に意見したり専門家の意見も取り入れながら、町にふさわしい計画を立てるべきである。それにより、誰が、何をするのか？が明確になる。

・地区が主体となって進めていくおぼろげな認識は共有するものの、制度そのものが分からず専門的指導、みんなが理解できる説明を行うべき。個人情報の壁、隣近所の疎通、認知症増加などに加え、財政的支援も考えて欲しい。

・地域包括ケアシステムは理想だが担い手不足。サポーター養成だけでなく、活躍できるよう支援が必要であり個人情報という障壁も解消しなければならない。地域コミュニティーも顔を合わせる人は決まっており、出せる人もまだ良い。医者も少なく交通網も弱い山西地区では小児病院跡地にでも医療モールができると良い。

③ 予算

・一色小学校地域再生協議会については大変重要な位置づけと捉えるが全く見えずに不安。議会はこの1年の動きをしっかりと把握、追及していくべきでありその進捗を町民に都度説明する必要がある。下水道料金の値上げにつちは料金改定の理由をきちんと説明せよ。

・総合計画・総合戦略を国に言われて作成するのは良いが、絵に描いた餅にならないようしっかりした議論、町民への説明が必要。併せて今後も財政状況もきちんと示すべき。

・予算をもっと縮小して集中と選択を行うべき。そのためにも広域での事業展開が更に必要となってくる。未利用地である小児病院跡地については当時の契約内容を確認し、何ならまず可能なのか示すべき。